

Shining Achievers

生き物ふれあいプロジェクトが始まりました！

2Qから、「生き物ふれあいプロジェクト」が始まりました。SOLAN小学校には、「SOLANの森」と呼ばれる場所があります。カナヘビやバッタなどがたくさんおり、1Qは、スナックタイムやランチブレイクに、虫籠と虫あみをもって駆けていく1年生の姿をよく目にしました。SOLANの森は、昨年の1年生がプロジェクトで花壇や小径を作り、虫や鳥が集まる空間に整備したのですが、学年が上がり4月から誰も管理しなくなったことで、雑草が生え、荒れてしまいました。そのため、2年生から、「1年生にプロジェクトを引き継いでほしい」とお願いがあったことが、今回のプロジェクトのきっかけです。「SOLANの子が、生き物と触れ合える空間を作る」ということを目的に、7月下旬から活動を始めています。

実際にSOLANの森を調査をした際には、「先生、2年生が作った花壇、もう見えないよ」「雑草が多過ぎて、ぼくは入りたくない」など、いろいろな感想が聞かれました。そのような現状を受け、子どもたちは、「生き物と触れ合える空間」とはどのようなものかを考えました。「虫がいっぱいの場所にしたい」「どうぶつ飼いたい！」「それよりもまず、草抜きしないと」「巣箱を作って餌を置いたら鳥が来てくれるかな？」など、いろいろな意見が出ました。13人1グループで話し合ったのですが、考える技で学習しているイメージマップを議論のツールとして活用することで、できるようになってきました。

7月28日には、愛知池バタフライガーデン友の会の皆様に来校していただき、チョウが来る環境や、花について、お話を聞きました。子どもたちは、「なんで花によってくるチョウが違うの？」「なんでアサギマダラは遠くまで飛べるの？」など、積極的に質問していました。このように、専門家の方の意見も聞きながら活動を進めています。

子どもたちは、イメージマップで出た意見を、Xチャートで分類したところ、今後は「むし」「しょくぶつ」「どうぶつ」「とり」の4つのチームに分かれて、活動を進めていくことになりました。

まだ先の話にはなりますが、今後、環境整備や活動を進めていく中で、保護者の皆様にご協力いただくこともあると思います。詳細が決まり次第、ご連絡いたします。よろしくお願ひします。